



平成28年度 西之表市議会 議会報告会及び意見交換会





【次 第】

- 1 開 会
- 2 代表者あいさつ及び出席議員の紹介
- 3 校区長あいさつ
- 4 報告事項
 - 各委員会等の活動状況及び議案の審議状況
- 5 質疑応答
- 6 意見交換
 - 地域の課題について
 - 市議会及び市政への意見について
- 7 閉 会



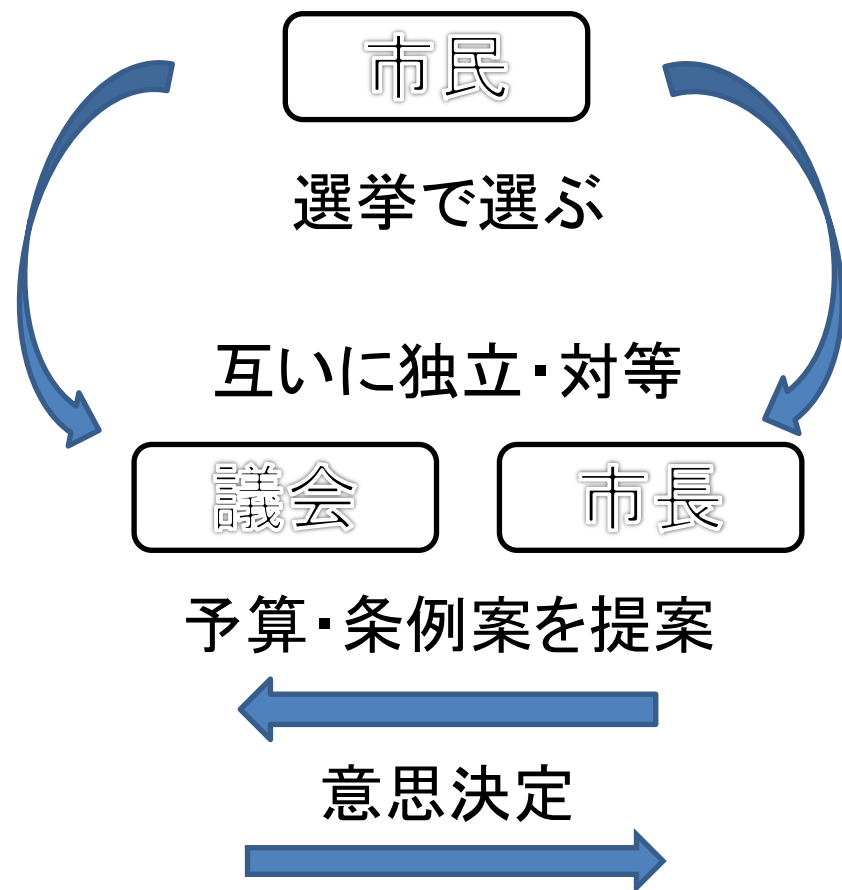
議会の役割と権限

★自治体は、住民が市長と議員の両者を直接選ぶ二元代表制をとっています。

★議会は、市長の提案する議案（予算、条例）などを市民目線でチェックし、地方自治体の意思を最終的に決定する役割があります。

★議会は、住民の代表として、自治体の意思決定機関として、重要な役割を担っています。

二元代表制のイメージ



議会の権限



★議決権(地方自治法第96条)

議決権は議会権限の中で最も基本的かつ本質的なもの。

①条例の制定や改廃②予算の決定③決算の日程等

★調査権(地方自治法第100条)

市の事務の調査・関係者の出頭や証言を求める等。

★検査及び監査請求権選挙権(地方自治法第98条)

市の事務に関する書類、計算書の検閲等。

★その他の権限

議長等を選ぶ選挙権・市長が副市長等の選任に対する同意権等。

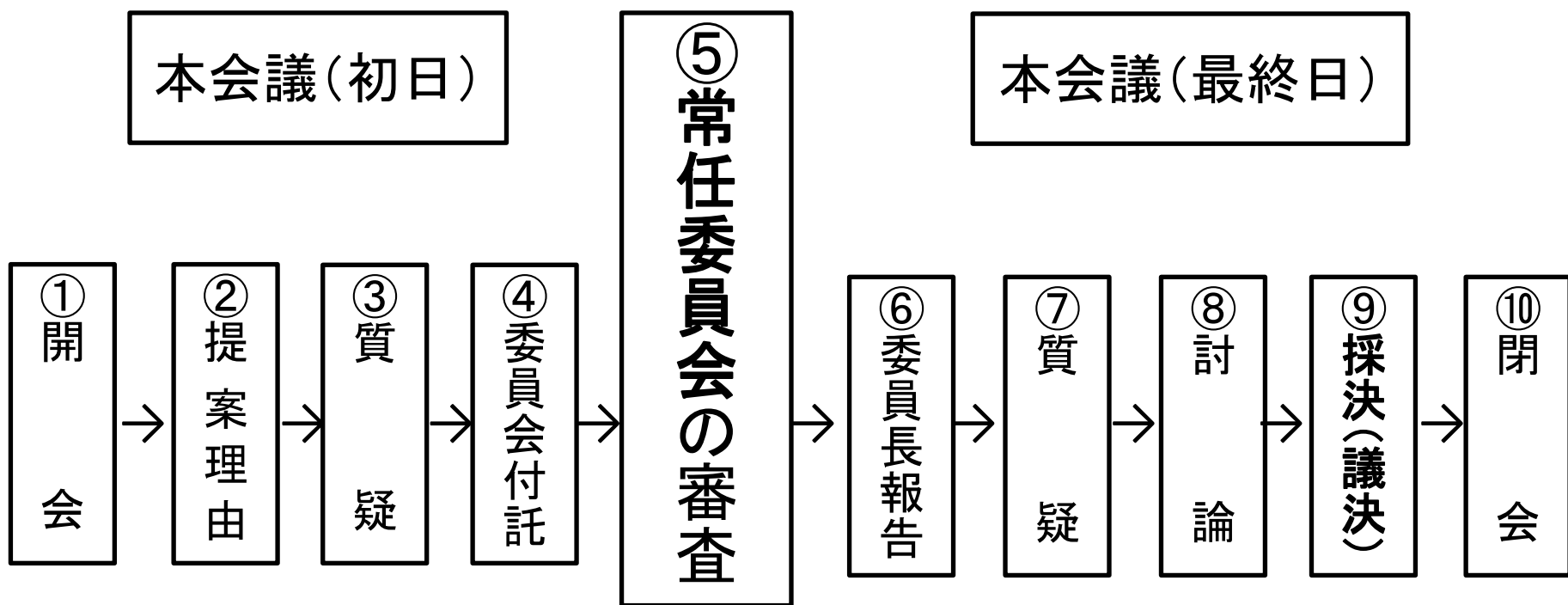
★議案提出権

議員や委員会が条例や意見書等の議案を提出すること。



議案審議の流れ

【議案審議の一般的な例】 ※定例会は3、6、9、12月に開催



★傍聴・・・本会議、委員会の会議は公開されています。



議会基本条例による 議会改革の取り組み

★議会だより編集の改善

- ・議員の議案に対する賛否を公表
- ・読みやすい議会だより編集の調査検討

★本会議、常任委員会、特別委員会の公開

★高校生による本会議傍聴

★議会報告会の開催

(第1回:平成25年8月20日～9月3日)参加者数187人

(第2回:平成26年5月7日～5月23日)参加者数165人

(第3回:平成27年5月18日～5月26日)参加者数226人

※議会報告会を開始した後、一般質問(市政に対する質問)を行う議員が増加するとともに、議会での議論が活発化されている。

請願・陳情の手続き(提出方法)



市政や国・県に対する市民からの要望等を議会が応援します。

★ 請願書や陳情書(紹介議員不要)はいつでも提出できます。

★ 取扱い方法

- ① 請願 → すべて、委員会審査後、本会議で採決
- ② 陳情 → 議員に資料として、配付。

但し、主旨内容等に応じて、委員会審査後の本会議で採決

★ 審査結果に基づき、市・国・県に意見書を提出することがあります。

提出された請願について



平成27年1月1日から、12月31日までに受理した請願書の審議状況です。

★ 請願書

- ①受動喫煙の防止措置の強力な推進を求める請願書・・・一部採択
- ②年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める請願書・・・採択
→意見書を内閣総理大臣他3名に送付
- ③教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2016年度政府予算に係る意見書採択の請願について・・・採択
→意見書を内閣総理大臣他3名に送付
- ④種子島屋久島を「活動火山周辺地域防災営農対策事業」の対象地域に組み入れることを求める請願書・・・継続審査
- ⑤一般廃棄物(古紙)の圧縮梱包処理費の負担を求める請願書・・・一部採択

提出された陳情について



平成27年1月1日から、12月31日までに受理した陳情書は以下の通りで、議員配付しています。

★ 陳情書

- ①「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会を求める」陳情書
- ②地球社会建設決議に関する陳情書
- ③13回目の地球社会建設決議陳情書
- ④国に対して「安全保障関連法案」に反対する意見書をあげていただくことを求める陳情書
- ⑤14回目の地球社会建設決議陳情書
- ⑥外国人扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情
- ⑦宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書
- ⑧沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

議会報告会の結果について

アンケート結果より



開催日：平成25年8月20日～9月3日 12日間
 平成26年5月7日～5月23日 12日間
 平成27年5月18日～5月26日 7日間

★参加者数

	H25年度	H26年度	H27年度
男	164人	141人	198人
女	23人	24人	28人
計	187人	165人	226人

★報告会参加のきっかけは

	H25年度	H26年度	H27年度
広 報 誌	114人	78人	108人
市 議 会 H P	3人	2人	4人
議員からの案内	16人	25人	22人
自治会長から案内	42人	18人	62人
無 回 答	4人	21人	2人
計	179人	144人	198人



議会報告会の結果について アンケート結果より

★内容について

	H25年度	H26年度	H27年度
良くわかった	71人	81人	98人
どちらともいえない	53人	54人	78人
分かりにくかった	18人	5人	5人
無回答	37人	4人	15人
計	179人	144人	196人

★報告会について

	H25年度	H26年度	H27年度
評価する	100人	101人	118人
どちらとも言えない	36人	30人	58人
評価しない	9人	6人	6人
無回答	34人	7人	14人
計	179人	144人	196人

昨年の議会報告会でお寄せいただいた 意見のご紹介(抜粋) 1



◎ 高速船の料金について。年金暮らしの人達が、月に何回も病院に行ったりして負担が大変だ。高速船の利用アンケート調査を行い、会社を説得するのが良いのではないか。

◎ 生産物の航路について。早く消費者の元に届ける為にも、奄美航路の活用ができないか。

➡ 船の航路を国道とみなす考え方で運賃補助を受けているところもあり、奄美や沖縄並みの補助率を求めて国に要請しています。また、高速船料金のバンカーサーチャージについては、会社の申告制であり、島民の負担軽減に向けて、今後も会社にも継続して要請していきます。熊毛一体で取組む重要な課題だと思っています。

◎ 西之表の議会では、議員の紹介がある請願書でないと議論されないと聞いた。いつから議員は偉くなったのか。

➡ 昨年からは試行的に行っていますが、陳情についても議会運営委員会で取り扱いを検討することとなっています。



昨年の議会報告会でお寄せいただいた 皆様の意見のご紹介（抜粋） 2

◎ サトウキビへの助成を要望。キビは過去10年間で最低の出来だった。中種子町は2,500円助成で、西之表市でも要望したい。

➡ 昨シーズンは収量も度数も過去最低。西之表市は被害救済のために基金を創設し、種代を補てんしています。

◎ ふるさと納税は平成26年度いくらだったか。長崎の平戸では大きな金額が集まった。ふるさと納税は5箇所までできるようになったので工夫してもらいたい。

➡ 平成26年度の寄付額は約150万円。長崎県平戸市ではふるさと納税が8億円もあります。市民の関心の高さはわかりましたので、今後一層議会でも議論したいと考えます。

◎ 若者定住促進事業で地域に戻ってきた割合はどの程度か。

➡ 2年半で30世帯110人が大字地区に定住したと報告されています。

◎ 南海トラフ対策事業にたった15万円という予算はおかしくないか。

➡ 事業の予算は15万ですが、防災無線の修繕、海拔表示板100枚の設置など他の事業で予算を組んでいます。

《校区毎の議事録は西之表市議会ホームページで紹介》



平成28年度西之表市予算

(単位:千円)

区 分		年 度	平成28年度 A	平成27年度 B	増 減	
					C:A-B	C/B
一 般 会 計			9,539,000	10,381,000	△842,000	△8.1
特 別 会 計	簡 易 水 道		0	154,000	△154,000	△100.0
	国 民 健 康 保 険		3,000,000	2,921,000	79,000	2.7
	交 通 災 害 共 済 事 業		2,572	2,771	△199	△7.2
	地 方 卸 売 市 場		501	501	0	0.0
	介 護 保 険		2,026,000	2,057,000	△31,000	△1.5
	後 期 高 齢 者 医 療 保 険		218,000	215,000	3,000	1.4
	小 計		5,247,073	5,350,272	△103,199	△1.9
合 計			14,786,073	15,731,272	△945,199	△6.0

委員会の審議内容（総務文教委員会）



○＜平成28年度一般会計歳入予算＞

区 分	平成28年度(A)		平成27年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額 (千円)	構成比 (%)	当初予算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
市 税	1,341,528	14.1	1,349,947	13.0	△ 8,419	△ 0.6
地方交付税	4,002,329	42.0	3,837,480	37.0	164,849	4.3
国庫支出金	1,523,033	16.0	1,387,850	13.4	135,183	9.7
県 支 出 金	870,681	9.1	1,079,383	10.4	△ 208,702	△ 19.3
市 債	674,161	7.1	1,669,530	16.1	△ 995,369	△ 59.6
そ の 他	1,127,268	11.7	1,056,810	10.1	70,458	6.6
合 計	9,539,000	100.0	10,381,000	100.0	△ 842,000	△ 8.1

委員会の審議内容（総務文教委員会）



○総務

① 西之表港船舶給水整備事業(600万円)

今年度、種子島海上保安署の設置が予定されており、巡視船(巡視艇)停泊のために西之表港の船舶給水設備を整備する。

② 榕城分団女性分団詰所整備事業(9,780万円)

実施設計等委託料、工事請負費が計上されている。建設予定地は、すこやか横駐車場。

③ 西之表市公式ホームページリニューアル事業(1,544万円)

現ホームページは利用者の閲覧環境の変化やニーズに対応できていないため、使いやすさ、高齢者や障がい者に配慮したホームページを目指し、リニューアルを実施する。

○地域支援

① 地域おこし協力隊パートナー事業(6,010万円)

都市住民など地域外の人材を新たな担い手として積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある住民のニーズに応えながら地域力の維持・強化を図る。全12校区、まちなかのにぎわいづくり担当、観光担当、特産品開発担当の計15人配置予定。

② ふるさと納税推進事業(2,339万円)

西之表市へふるさと納税を行った個人に対し、記念品を贈呈する事業。記念品を送付する地元業者に対する委託料等を計上する。H27寄附金実績:803件・1,587万円。

委員会の審議内容（総務文教委員会）



③ 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業（2,054万円）

中割地区の各集落をネットワーク化し、廃校となった校舎を活用して、買い物、健康づくり、子育て、交流の拠点を整備する。

○教育・文化・スポーツ

① 給食センター施設補修事業（3,200万円）

設立15年目に入り、施設の老朽化が目立ってきた。安全安心な給食を引き続き提供するため、年次的に配送車と厨房機器の更新を行う。また、自動ドア等修繕も併せて行う。

② 上妻家住宅保存活用事業（3,075万円）

上妻家住宅は、幕末から明治初期の伝統的手法を基にした種子島を代表する武家屋敷である。文化的に価値の高い上妻家住宅を購入し、総合的に管理保存を行っていく。

土地面積は、4209㎡（1273坪）。

③ 市民体育館屋上防水補修事業（1,049万円）

④ 山村留学里親等支援事業（420万円）

市外に在住で西之表市の小学校に転入学を希望する児童を、校区内一般家庭に受け入れ、豊かな体験活動や小規模校の特色を生かした教育活動を通して「生きる力」を育む。また、地元の子どもや地域との相互交流を深め、地域の活性化を図る。

上西小1名、現和小2名、古田小2名、伊関小1名の計6名。

委員会の審議内容(産業厚生委員会)



○産業の振興

① 地域振興推進事業[シカとの共存と被害ゼロ促進事業](420万円)

シカの生息頭数を短期間に減少させる対策及び、捕獲したシカの処理体制を整備するもの。併せて畑地等へのシカの侵入防止対策を講じる。

② 畜産クラスター事業(1,245万円)

畜産クラスター計画の達成について、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取り組みを支援する。

③ 酪農スラリー堆肥化推進事業(23万円)

酪農経営により排出されるスラリー(ふん尿混合)について、適正な処理機能や悪臭の発生状況・処理スラリーの利用性に関する検討調査を行う。

④ 基幹水利施設保全事業[西京地区](1,500万円)

市内の基幹水利施設、特に西京ダム機器及び西京畑かん施設の修繕・更新を行う。

⑤ 市有林整備事業(401万円)

間伐等、整備適齢期に達した市有林の整備を行う。

⑥ 宇宙芸術祭事業(28万円)

28年度、29年度に種子島全土で開催される宇宙芸術祭事業費を1市2町で負担する。

委員会の審議内容(産業厚生委員会)



○健康・医療・福祉

① ウォーキング等推進事業(62万円)

健康増進を図るため、あつぽ〜らんどを中心とした歩こう会を年数回開催する。

② 電動アシスト自転車購入助成事業(100万円)

市民自らの健康づくり意識を勧奨するため、電動アシスト自転車の購入補助により、メタボ予防・対策、心疾患、脳卒中予防に至る環境整備を行う。

③ 地域振興推進事業[老人福祉センター改修](550万円)

老人福祉センターのトイレ改修に併せ、ふれあい広場のフェンス修繕を行う。

④ 多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業(407万円)

古田手と手をつなぐ結の里事業の運営を委託する。

⑤ 榕城児童クラブ施設改修事業(105万円)

タイル張りのスペースをフローリングに改修することで、雨天時の転倒防止等児童の安全利用を図る。

⑥ 美浜児童センターフェンス設置事業(106万円)

建物全長に即したフェンスを新設することで、利用の安心安全を図る。

委員会の審議内容(産業厚生委員会)



○安心・安全・基盤整備

① 浦田線道路舗装事業(2,000万円)

浦田線の道路舗装工事を行う。

② 上洲之崎線道路改良事業(1,500万円)

上洲之崎線道路を防災避難路として改良する。

③ 地域振興推進事業[多世代間交流の場づくり事業](1,900万円)

わかさ公園駐車場及び遊具整備とあつぽ〜らんど施設等を整備する。

④ 社会資本整備総合交付金事業

橋りょう補修(3,010万円)を行う他、西町上之原線(9,077万円)、洲之崎9号線(1,046万円)、安城平松線(1億166万円)の道路整備を行う。

○その他

① 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業(1億1272万円)

賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者等への支援のため、低所得高齢者及び障害・遺族基礎年金受給者へ給付金の支給を行う。



航路改善港湾整備特別委員会

設置目的: 島民の利便性確保を目的に、航路輸送手段の改善及び港湾、空港の整備を図るための調査研究を行うために設置する。

★平成27年11月2日

・種子屋久高速船株へ、種子島航路の曜日運航の見直しを求める要望書を提出した。(正副委員長)

所管事務調査

★平成28年1月28日～1月30日

- ・鹿児島運輸支局: 運賃、料金制度、バンカーサーチャージに関する事項他。
- ・長崎市: 運賃やターミナル等の住民の利便性、高速船の新造船に関する事項他。
- ・第十管区海上保安部: 海上保安庁種子島保安署の設置に関する事項。

★平成28年8月3日～8月4日

・九州運輸局

→ 運賃、料金制度は会社が設定した上限運賃の届け出制となっているため、その透明性の確保を求めた。また、バンカーサーチャージについては、原油価格の変動にすぐ対応させるよう、燃料保有量の規制、制度設計を行うよう求めた。

・種子屋久高速船株式会社

→ 料金設定についての説明をいただきたいこと、運航体制や料金の変更の際は、市並びに議会と事前に協議いただきたいことを主旨とした要望書を提出した。

・鹿児島県庁(離島振興課・交通政策課・港湾空港課)

→ 有人国境離島法関連の計画は地元市町村の意見を十分聞いて作成いただきたいこと、種子屋久高速船株の株主の立場から地元の意見を会社へ届けていただきたい旨依頼した。

★参加メンバー

田添辰郎・渡辺道大・木原幸四・鮫島市憲・小倉伸一・中原勇・川村孝則・榎元一巳



馬毛島対策特別委員会

設置目的: 馬毛島への米軍空母艦載機離着陸訓練施設及び関連する自衛隊施設建設に反対する立場から馬毛島を取り巻く諸課題について、調査研究を行うために設置する。

所管事務調査

★日時: 平成28年6月2日 10時～11時30分

★場所: 衆議院第1議員会館会議室

★構成

- ・防衛省 地方協力局地方調整課長他2名
- ・西之表市議会 馬毛島対策特別委員会12名、永田議長、事務局2名

★調査内容

①馬毛島調査について

平成27年度調査・・・気象海象調査と航空測量調査の実施

平成28年度調査・・・施設の配置など基本的なものを予定

しかし、土地の取得について合意ができていないため、今後の調査内容やタイムスケジュールなど、事前に説明できるものはない。特別委員長より、防衛省に対し、馬毛島調査の中止を要請。



②馬毛島への米軍空母艦載機離着陸訓練(FCLP)の移転について

＜防衛省説明要旨＞

- イ 我が国周辺の安全保障環境について(北朝鮮、中国)
- ロ 自衛隊施設の整備について(大規模災害、南西地域防衛展開)
- ハ 南西地域における防衛全体イメージについて(南西諸島から沖縄)
- ニ 大規模災害における展開・活動イメージについて(集結展開拠点)
- ホ 馬毛島の位置付けについて(南西諸島)
- ヘ FCLPについて(年1～2回)
- ト 基地交付金や補助金について(交付額は未定)

③米軍空母艦載機離着陸訓練(FCLP)の影響について

- イ 墜落、部品落下事故について(墜落は昭和50年代にあったが、それ以降なし。部品落下は戦闘機やヘリもある。→米軍へ申し入れている。)
- ロ 騒音について(影響はどの程度であれ、ある。→対策をとる。)
- ハ 米軍との関係について(飛行時間6時～10時→緊急な場合は飛ぶ。地元の思いを伝えている。)
- ニ 米軍からの訓練通知について(訓練の詳細や通常訓練通知は非常に難しい。)



- ホ 馬毛島の訓練空域と航空管制権について(馬毛島に決定・確定していないので明確に答えられない。)
- ヘ 米軍の訓練拡大について(日米合意は、FCLP訓練移転先について馬毛島を検討しており、それ以外はない。)
- ト 周辺の航空路・海上路への影響について(フェリー・高速船への影響なし。空域については、総務省や県との協議になる。)

④米軍空母艦載機離着陸訓練(FCLP)の移転について

馬毛島明記の白紙撤回を求めた。(FCLP施設は、必要な施設であるが、馬毛島に決定したわけではない。よく説明し、理解を得ながら検討していきたい。)

H28.6.13 第2回定例会(6月議会)冒頭

全会一致でおおさか維新の会へ抗議する決議書を採択。その後、送付

H28.8.2 第1回臨時議会

全会一致で馬毛島への沖縄県の米軍普天間飛行場の移設並びに訓練移転に反対する意見書と馬毛島への翁長沖縄県知事による視察に抗議する決議書を採択。
その後、送付



まちづくり特別委員会

平成27年10月28日の第2回臨時議会で設置
議長を除く全議員を委員とする。

中心市街地の まちなかの再生及び各地区
の新たな地域おこしのあり方やにぎわい創
出・商店街の活性化などについて必要な調
査・研究を行います。

<中心拠点施設関連予算を削除>



平成27年12月議会で、建設予算2.9億円の中心拠点施設関連予算を削除
施設概要：西之表市栄町1丁目(現在・県駐車場及びその県有地)



拠点施設反対の理由

★総務文教委員会 商工会青年部との意見交換会で、「誰のための施設なのか、より深い議論が必要」との意見が出ていた。

★産業厚生委員会 商店街アンケートを実施。136人の回答者の中で半数以上が計画を知らず、76%が「商店街の再生につながらない」と回答。

- ⇒ 住民への周知が不足している。
- ⇒ 施設の維持管理運営の体制づくりが明確ではない。
- ⇒ 商店街の賑わいづくりに向けた具体的な計画や予算もなく、町中への波及効果が見えない。



まちづくり特別委員会の取り組み

- 中心拠点施設建設の議論とまちづくり特別委員会の設置目的の定義づけ
- 西之表市のまちづくりの在り方についての議論
 - ・ テーマ「本委員会で取り上げるべきテーマと、町の活性化について」全議員の意見のまとめ
 - ・ テーマ「市街地がさびれた原因」について、全議員の意見のまとめ
 - ・ 商店街・事業者を対象にしたアンケートの実施と主な要点のまとめ



9月定例会開催のご案内

○開会日時(予定)

9月16日(金)午前10時

○場所

西之表市議会議場

(傍聴席は、市役所議会棟3階)

※会期日程は、議会運営委員会において決定いたします。
詳細については、市議会ホームページ等をご覧ください。



アンケートのご協力について

ご意見をお聞かせください。

今後の議会報告会・議会運営の参考にさせていただきます。

ご記入されたアンケート用紙は、入口のアンケート回収箱にお入れください。



ご来場ありがとうございました！

本日は、誠にありがとうございました。
お忘れ物のないようお帰りください。